



2025年5月13日

各位

会社名 アキレス株式会社
代表者名 代表取締役社長 日景 一郎
(コード番号 5142 東証プライム)
問合せ先 常務取締役管理部門統轄兼 CSR 担当
兼経理本部長 河野 和晃
(TEL 03- 5338- 8238)

(訂正)「2025年3月期 決算概要」の一部訂正について

2025年5月12日に公表しました「2025年3月期 決算概要」において、記載内容の一部訂正すべき事項がございましたので、下記の通り訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

当該資料の「2. 2026年3月期 業績予想」(8ページ)に一部誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所については、下線を付して表示しております。

【訂正前】

	2024年3月期	
	実績	売上比
売上高	78,607	-
営業利益(△損失)	△958	△1.2%
経常利益(△損失)	△171	△0.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益(△損失)	△8,210	△10.4%
年間配当金 (中間/期末)	40円 (期末)	

【訂正後】

	2024年3月期	
	実績	売上比
売上高	78,607	-
営業利益(△損失)	△958	△1.2%
経常利益(△損失)	△171	△0.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益(△損失)	△8,210	△10.4%
年間配当金 (中間/期末)	20円 (期末)	

参考として、上記訂正を反映した「2025年3月期 決算概要」を添付いたします。

以上

2025年3月期 決算概要

アキレス株式会社 (コード番号：5142 東証プライム市場)

2025年5月12日

1. 2025年3月期 業績

1. 2025年3月期 業績 – 連結損益計算書

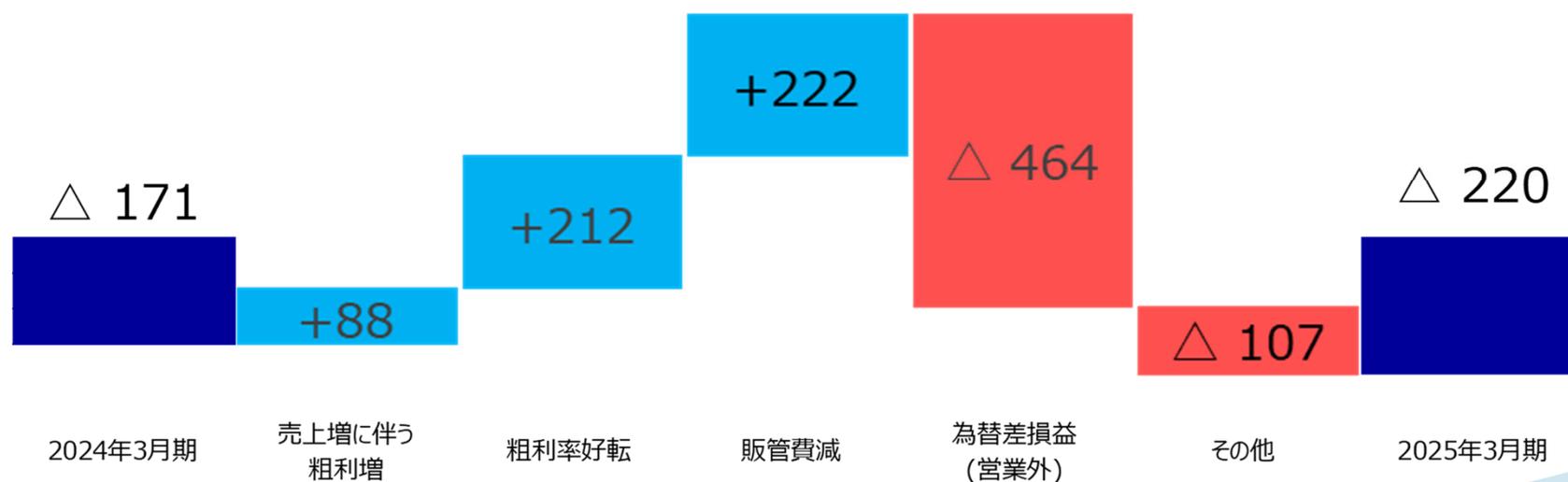
- 売上高は、車輻内装用資材やシューズが苦戦したが、エレクトロニクス分野、ライフサイエンス分野向けでフィルムが大きく伸長し増収
- 利益面では、原材料価格・エネルギーコストの上昇や円安による仕入れコスト上昇の影響等への対応として、生産性の向上や経費削減に努めたが436百万円の営業損失
- 持分法による投資利益209百万円等の営業外損益を含めた経常損失は220百万円
- 固定資産の減損損失3,256百万円、固定資産売却益2,308百万円、退職給付信託返還益1,958百万円等を含めた親会社株主に帰属する当期純利益は427百万円

(単位：百万円)

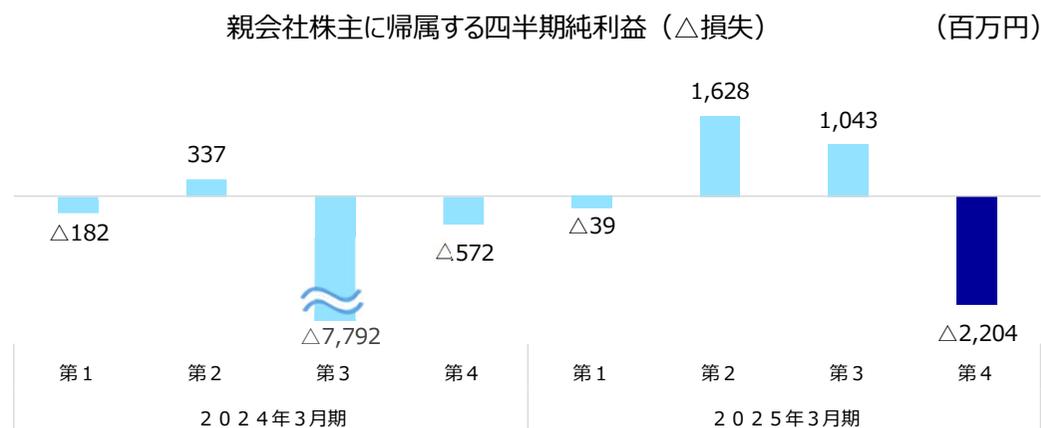
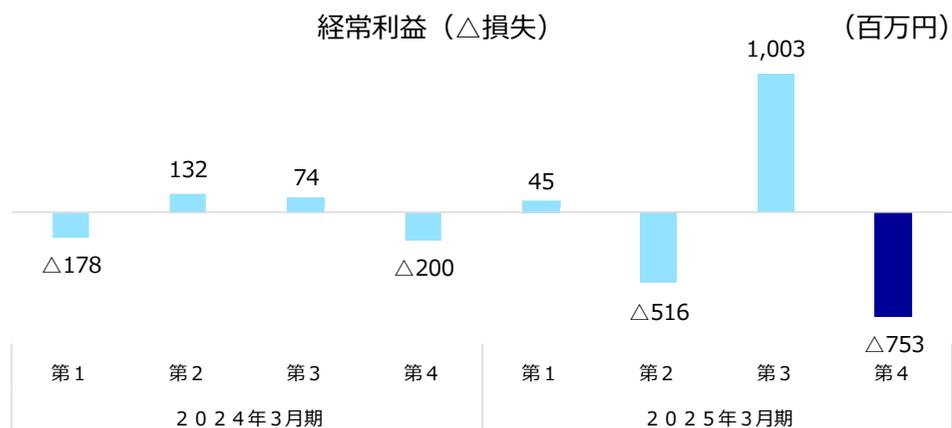
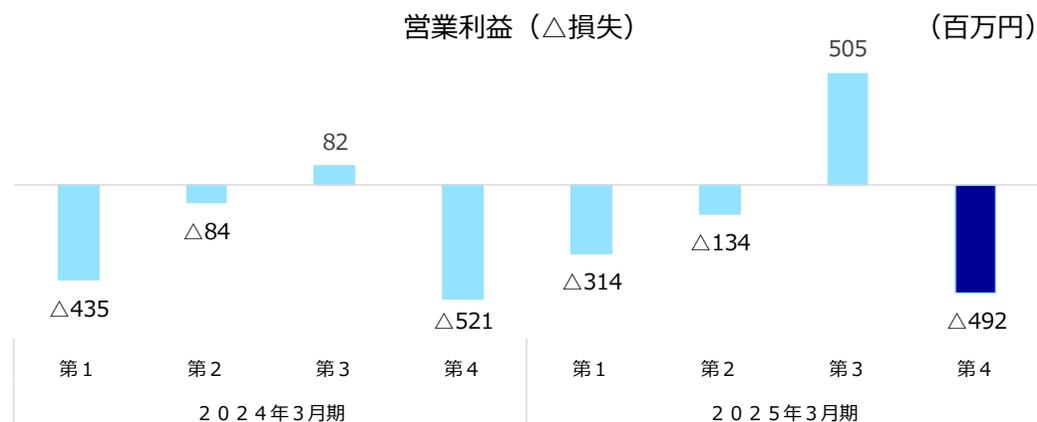
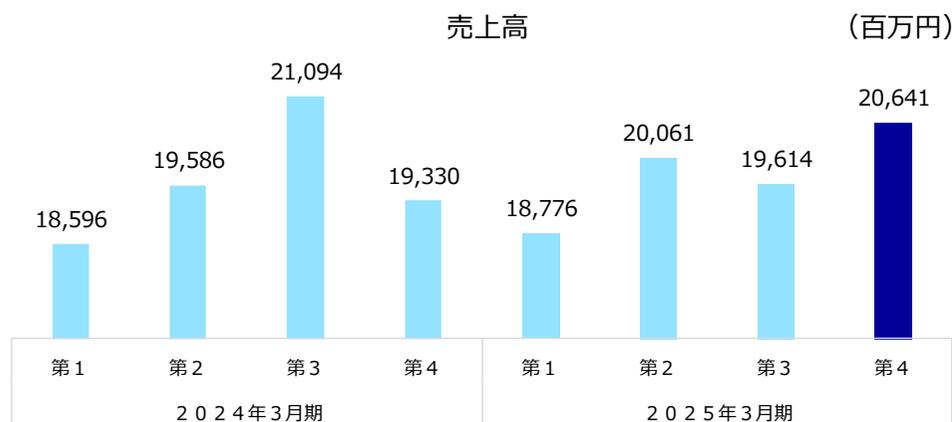
	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比		前回予想 2025年2月10日	予想比 増減額
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率		
売上高	78,607	—	79,093	—	485	0.6%	84,000	△4,906
売上総利益	14,184	18.0%	14,484	18.3%	299	2.1%		
販売費及び一般管理費	15,143	19.3%	14,920	18.9%	△222	△1.5%		
営業利益 (△損失)	△958	△1.2%	△436	△0.6%	521	—	200	△636
経常利益 (△損失)	△171	△0.2%	△220	△0.3%	△48	—	500	△720
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△8,210	△10.4%	427	0.5%	8,638	—	1,850	△1,422
1株当たり 当期純利益(△損失)(円)	△560.30		30.67		—		132.47	

1. 2025年3月期 業績 – 経常利益の増減分析

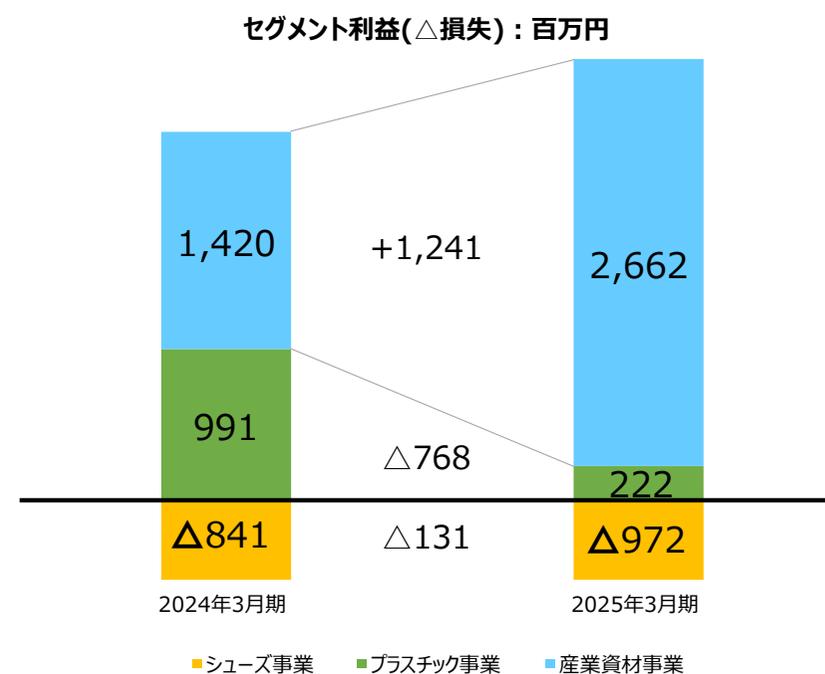
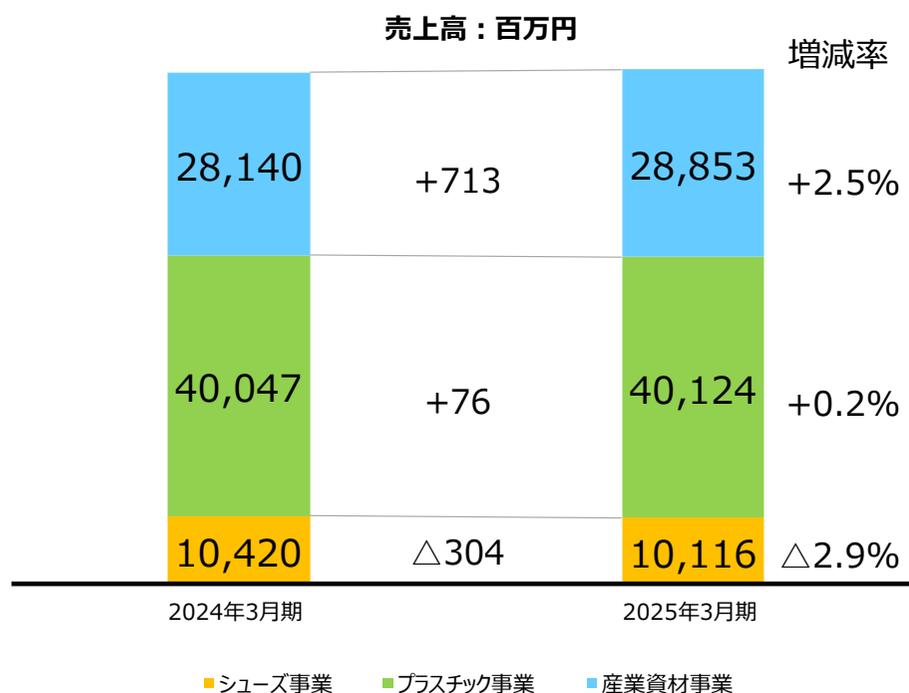
単位：百万円



1. 2025年3月期 業績 - 四半期別推移



1. 2025年3月期 業績 – セグメント情報



- シューズ事業は、ランニング用の「BROOKS(ブルックス)」やコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」が好調に推移する中、その他商品群が苦戦
- プラスチック事業は、車輻内装用資材が、日本・中国・北米市場で日系自動車メーカーの生産減少の影響を受けた一方、フィルムは、エレクトロニクス分野・ライフサイエンス分野向けが大きく伸長し増収
- 産業資材事業は、ウレタンの寝具・雑貨用が復調し、工業資材も半導体搬送用部材の回復と医療機器向けが伸長し増収

- シューズ事業は、販売費の削減等に努めたものの、円安による仕入れコストの増加等により損失拡大
- プラスチック事業は、海外市場での減収による粗利減の影響等により減益
- 産業資材事業は、価格改定の効果や生産性の向上による利益率の改善、前期に減損損失を行ったウレタン・断熱資材の減価償却費の減少等により大幅増益

1. 2025年3月期 業績 – 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	前期末比 増減額	増減の主な内訳
流動資産	47,279	45,720	△1,559	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚卸資産 △ 1,718 ・ 売上債権 △ 706 ・ 現金及び預金 869
有形固定資産	22,039	20,244	△1,794	
無形固定資産	398	274	△124	
投資その他の資産	12,944	13,266	321	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械及び運搬具 △ 2,079 ・ 建物及び構築物 △ 939 ・ 建設仮勘定 1,284
資産合計	82,662	79,504	△3,157	
流動負債	25,162	29,161	3,998	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年内返済予定の長期借入金 5,750 ・ 仕入債務 △ 2,013
固定負債	17,949	11,006	△6,942	
負債合計	43,112	40,168	△2,943	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期借入金（固定→流動） △ 5,750
純資産	39,549	39,336	△213	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己株式の取得 △ 959 ・ 退職給付に係る調整累計額 △ 956 ・ 為替換算調整勘定 1,705
負債・純資産合計	82,662	79,504	△3,157	
自己資本比率	47.8%	49.5%	1.7%	
一株当たり純資産(円)	2,764.61	2,878.18	113.57	

2. 2026年3月期 業績予想

2. 2026年3月期 業績予想

- 地政学的リスクのさらなる高まりを背景に先行き不透明な経営環境が続くことが予想される
- 新中期経営計画に掲げた、3つの全社戦略（選択と集中の徹底・新たな価値の創造・グローバル戦略の推進）と、事業基盤の高度化(人材力や生産性・技術力等の向上)を通じ、事業ポートフォリオ変革の実現に最優先に取り組むとともに、サステナビリティ経営を推進し、収益力の再構築・強化に取り組む

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期			2026年3月期 第2四半期累計	
	実績	売上比	実績	売上比	通期 計画	売上比	前年同期比 増減額	計画	前年同期比 増減額
売上高	78,607	-	79,093	-	81,000	-	1,906	39,500	661
営業利益（△損失）	△958	△1.2%	△436	△0.6%	1,500	1.9%	1,936	600	1,049
経常利益（△損失）	△171	△0.2%	△220	△0.3%	1,300	1.6%	1,520	300	771
親会社株主に帰属 する当期純利益（△損失）	△8,210	△10.4%	427	0.5%	800	1.0%	372	150	△1,438
年間配当金 (中間/期末)	20円 (期末)		20円 (期末)		30円予想 (期末)				

アキレスは身近なところで あなたの暮らしを支えています



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。